

## トピック — キャベツの需給動向 —

平成25年は、キャベツの卸売価格が、秋以降に高値が続き、特に12月には140円/kgとなり、直近10年では最高値となった。

12月の月別の入荷量と卸売価格の関係を直近10年間で見ると、比較的高い相関がみられる中で、平成25年の価格水準が最も高くなっている。

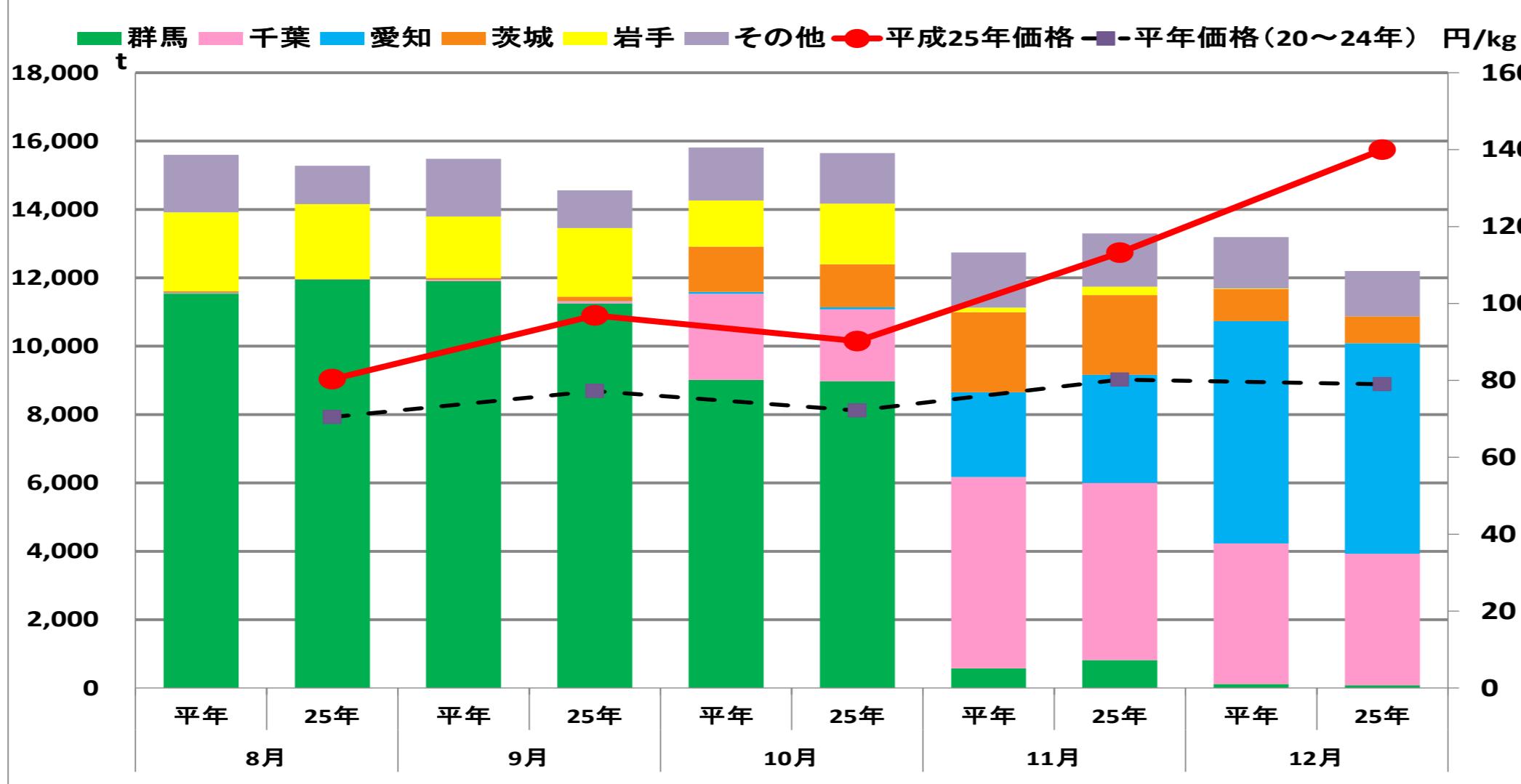
これは、近年、キャベツの加工・業務用需要が高まる中で、  
 ① 夏場の高温、少雨や台風の影響等から小玉傾向となり、特に12月の入荷量が少なかったこと  
 ② 年末需要が高まる12月に、加工・業務用の業者が、契約産地の不作に伴う調達数量の減少分を、市場調達により補おうとしたこと等が影響しているとみられる。

また、卸売価格と輸入数量との間には比較的高い相関がみられる中で、12月の輸入数量は前年比5倍の6千トンへと急増した。輸入キャベツの大半は加工・業務用向けとみられており、昨年年初の高値に加え、今冬の高値と品不足もあり、加工・業務用の業者による輸入手当の活発化がうかがえる。

当面、主産地の愛知等では小玉傾向で少なめの出荷が続くとみられる。

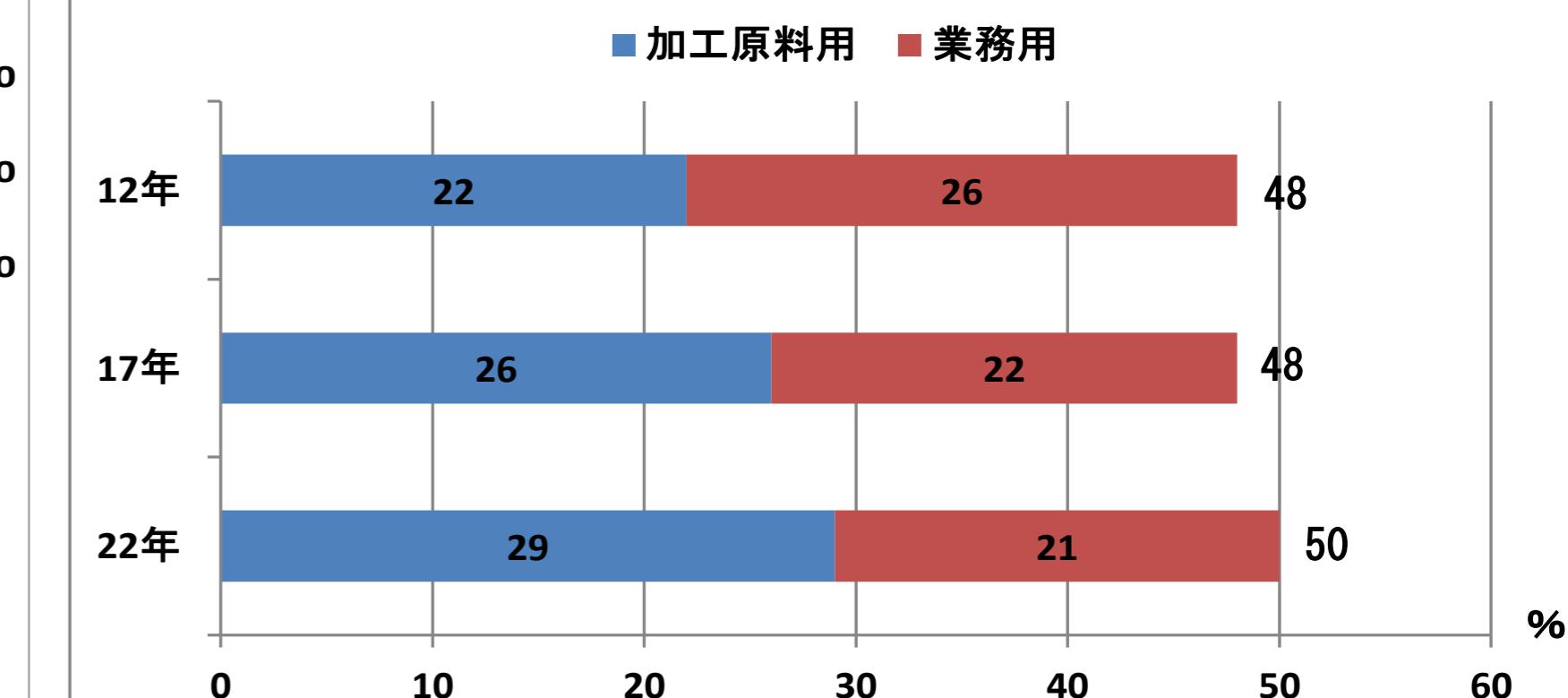
今後は、需要が堅調な国産キャベツの加工・業務用産地の育成・強化が、全体的な需給の安定を図る上でも求められている。

### キャベツの入荷量と卸売価格の月別推移 (東京都中央卸売市場)



資料：青果物情報センター

### キャベツの加工・業務用需要の割合

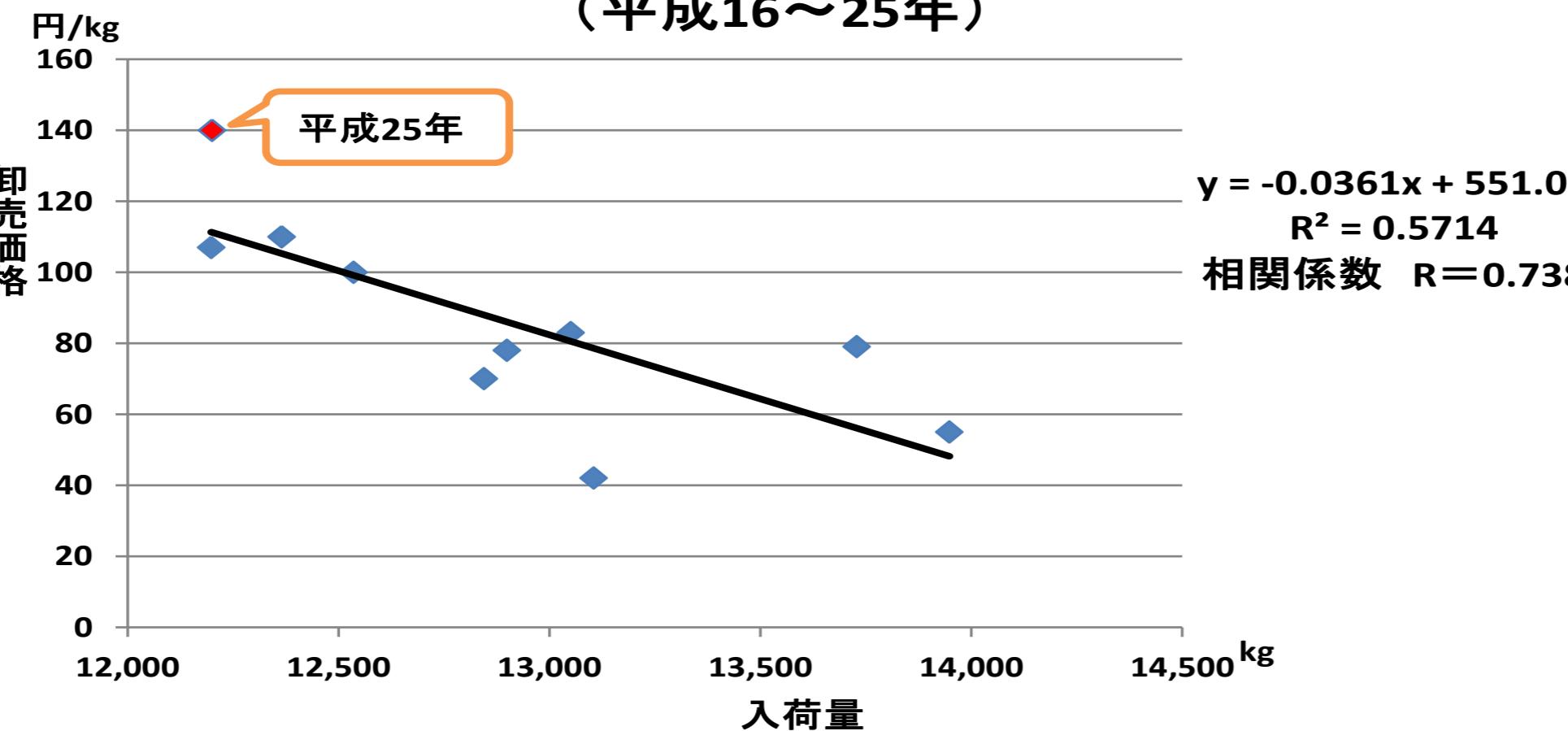


資料：農林水産省「農林水産政策研究所」

注：加工原料用は、カット野菜、総菜、冷凍野菜の原料等  
 業務用は、主に外食、中食等に使用されるもの

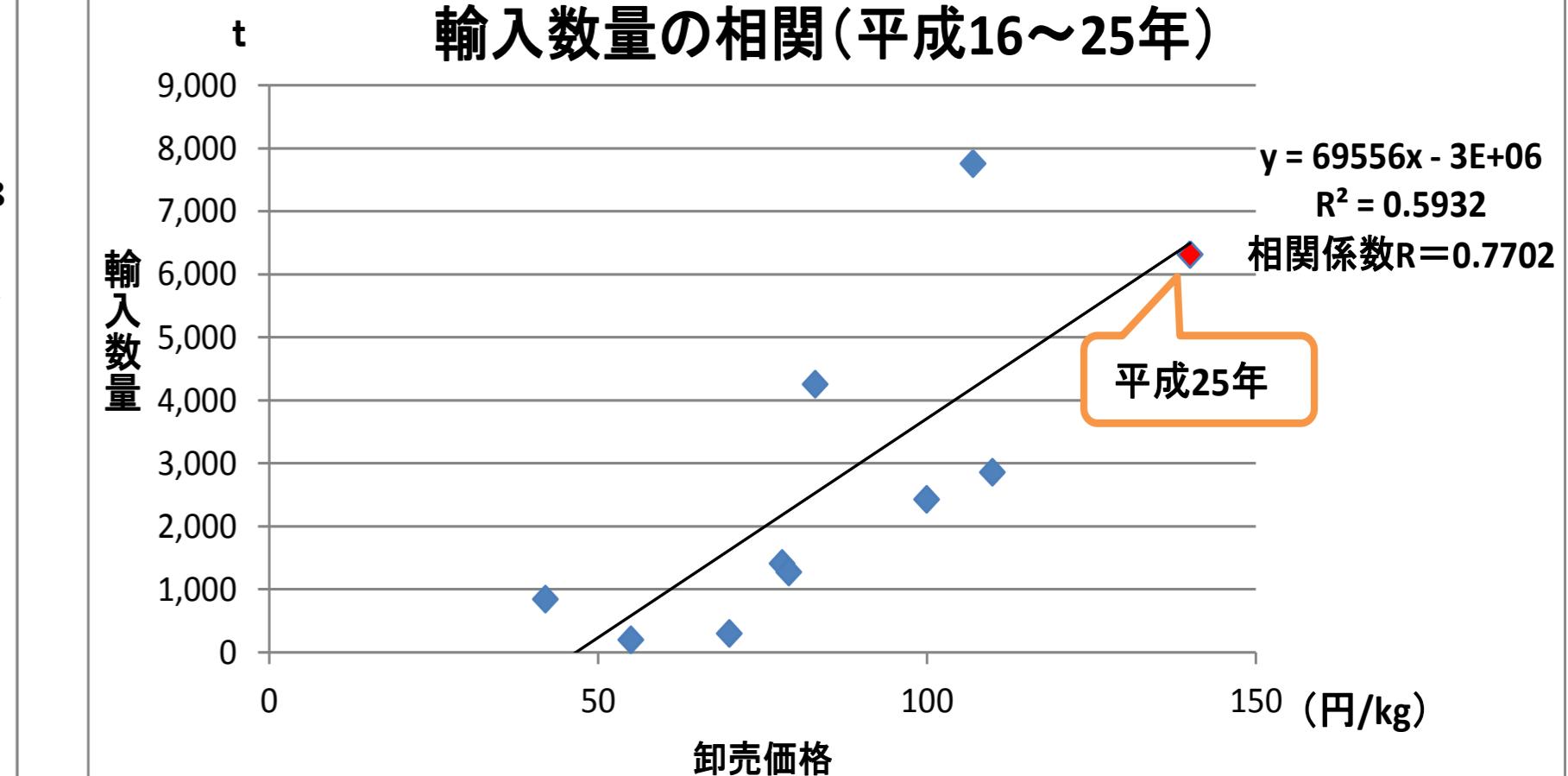
資料：青果物情報センター

### 12月の卸売価格と入荷量(東京都中央卸売市場)の相関 (平成16~25年)



資料：青果物情報センター

### 12月のキャベツの卸売価格(東京都中央卸売市場)と輸入数量の相関(平成16~25年)



資料：青果物情報センター、農林水産省「植物防疫統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、斎藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。□

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html) に掲載しています。